

置されており、これらの委員会を通じて、教育活動全般にわたる不断の「Plan Do See」を行うことにしている。

【大学院における学生の受け入れ】経営情報学研究科

1 学生募集方法、入学者選抜方法

(1) 大学院研究科の学生募集の方法、入学者選抜方法の適切性

現状の説明

学生募集については、国公立大学（経営及び情報関連学科を中心に約260大学）、在日大使館（アジア諸国を中心として10の大使館）などに願書の配布、告知をして9月上旬から中旬にかけて第Ⅰ期募集を行い、9月下旬に入学試験を実施している。また、2月中旬には第Ⅱ期募集を行い、2月下旬に入学試験を実施している。なお、学生募集に関する活動として、一般雑誌、新聞等の広告を掲載するなどの広報活動も併せて行っている。

受験資格は一般と社会人と分けて基準を設けており、入学者の選抜は、出願書類（出身学校の成績、健康診断書、推薦書）、外国語（一般のみ）、論文、口述試験（面接）を総合して判定している。論文については、志望する系列によって異なる課題を設定しており、専門分野の学習状況を審査している。

2 門戸開放

(1) 他大学・大学院の学生に対する「門戸開放」の状況

現状の説明

口述試験（面接）の結果を重視しており、他大学受験者も平等に判定できるよう配慮している。

3 社会人の受け入れ

(1) 社会人学生の受け入れ状況

現状の説明

大学基礎データ「Ⅲ 学生の受け入れ」「6 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数」に受け入れ状況を示している。大学院では社会人を積極的に受け入れており、特に、博士後期課程の受け入れ者はほとんどが社会人である。